

# バストス週報

長椅子 23

## バストス四十年の回顧

長い歲月であつたが、ふりかえつて見ると、シネマを見て二時間ぐらゐの回想である。

故畑中仙次郎氏がブラ拓が購入した土地を下検分を帯びて、実地調査をしたのは一九二八年である。ツパン方面から元の畑中親地迎まで道が開けて居り、イタリア人が二、三家族入植していたので、そこを泊めてもらい、ピカテイロを雇つて今日のプログレッソンあたりから、原始林に分け入った。

道順は、カスカッタ区、中央北側、グロリア区、アルト区であつたが、畑中氏はここに地相林相を実地に踏査した。畑中氏はここをそれ程良い土地とは思わなかつたらしいが、一万二千アルケールがまとまつて売物になつて居るような土地がなかつたのであつた。

土地のよしあしは植民者の成功不成功にならぬ。バストスの地味がもし北パラナ地方のようなら、早く生活はバストス入植者には或はもつと早く生活はのゆとりを掴んだかも知れない。パ線ではバストス周辺より、もつとましな土地もあつたであろうが、マサッペ地帯は大抵似たやうなものであろう。

バストスも広いから、中には沃土もある。甲も乙もなくなつても可い。

米作（陸稲）は、最初五六年はどこの米作（陸稲）は、農家の需要を充たし、市街地へも売れる程だつた。私はウニオンⅡのラッコな土地に一番近かつた代りに、一番色々工夫した結果、新開地にも拘らなかつた。色々工夫した結果、新開地にも拘らなかつた。色々工夫した結果、新開地にも拘らなかつた。

棉作は長い間バストスの主作であつた。無肥料で連作だし、トンパドルで鋤き返さず、砂まじりの土地は降雨のたゞに、表土と表土を失ひ、それこそまたたくまに、斜面がかつた畑に於ては、表土流失は

種命的なもので、防止の方法はない。永年性のものを植えるより方法がないので、エーも短い命だつた。桑は比較的長命だつたが、年に七八回も伐るので、やはり樹勢が衰へ、今日では一アルの桑園で、何程の養蚕も出来なくなつた。比較して農業収入が少いので、これに見

第九百四十七号  
昭和四十二年  
五月三十一日  
発行  
DIRECTOR  
KAZUJI MORI  
REDATOR  
SHION ODA  
RUA PRES-  
VARGAS:188  
C. POST 112  
FONE 40  
BASTOS  
C. P.  
ANUAL  
N. CR 8  
8.00

### HOTEL USAMI



支那料理は一品料理  
ぶたまんじゆ、やきそば  
ぎょうざ、その他おいしい  
ものが色々出来ます。

おいしい  
うさみうどん  
ぜんざい

日本食  
洋食  
支那食

お泊りとお食事はロードビアリオ前  
シネマのお帰りにお立ち寄り  
下さい。

### 食堂 宇佐美

電話 二二二

### SAPATARIA BASTOS

はき馴れ頃もう型がくすれてきた、  
それでは良い靴の条件には入りませ  
せん  
早川の靴ならその心配  
ありません。

優美  
安価  
堅牢



### 早川靴店

種命的なもので、防止の方法はない。永年性のものを植えるより方法がないので、エーも短い命だつた。桑は比較的長命だつたが、年に七八回も伐るので、やはり樹勢が衰へ、今日では一アルの桑園で、何程の養蚕も出来なくなつた。比較して農業収入が少いので、これに見



切りつけ他に転耕する人が後を断たなか  
 ったのもやむを得ないであろう。  
 この記憶がある。入植十五年の頃、  
 棉作最盛の時であったが、ある日、GI  
 区の田伏氏(此の方は三ヶ月前自動車  
 事故で死亡された)は、「今度フロリダ  
 方面で土地を買ったからムダンサするこ  
 とになつた」といわれ、びっくりして理  
 由をきくと、「土地が比較にならん。あつ  
 ちでは五百アロバはとれる」との事だつ  
 た。成程アルケル当りで二百も差がつけ  
 ば、年収も格段の差があるし、十年もた  
 ったら貧富の差がひどくなる。そうい  
 う将来に目をつけ、熟慮した人達の戦  
 うつづくのも、止むを得なかつたが、一  
 方あくまでバストスに踏み止まつて、こ  
 の土地にあう作物を選んでやつて行こう  
 とする人も多かつた。そういう人達が現  
 在のバストスを割り上げたのだが、その  
 ために苦勞も重ね、貧困とも戦つたので  
 ある。  
 長い苦勞だったが、ふり返つて見ると  
 束の間の出来ごとのようなのである。吾々は  
 人生の縮図をバストスという小社会に  
 四十年も眺め暮したのであるが、四十年  
 という歲月は長いようでもあり、短く且  
 つ果敢いようにも感ずる。初年度に生れ  
 た人は、本年はやくも四十歳に達し、商  
 工農いづれかの分野で懸命に働きをして  
 居り、三十歳の時入植した人は今年七十  
 歳で敬老会に迎えられんとしている。  
 回顧すれば、雑然としてさまさまの舞台  
 が描き出され、うたた懐古の情に堪えな  
 いものがある。  
 「私の思出し」というような記述を皆さん  
 から提供して下さいと願ふありがたいと  
 思うが如何であらうか。

○養蚕はバストスの命とリ

こんな題をかかげたら、さしずめブラ  
 拓さんからきついお叱りを蒙ると思つた  
 が、あの時は、そういう芝居の終幕だつた  
 ので、その後色々などんどん返しがあつ  
 て、今日の強固なブラ拓が出来上つたの  
 である。  
 今から二十六七年前の話だが、戦前か  
 ら戦時中にかけてバストスに養蚕気が捲  
 き起つた。いやこの景気はバストスだけ  
 ではなく、養蚕地帯ではどこでも便乗し  
 たのである。一説によると、日米国交の  
 破局から、日本の絹が米国に行かなくな  
 った。米空軍の使う落下傘は日本の絹で  
 編つたもので、是非とも無くしてはならぬ  
 軍需品。そこで北米は伯国の絹糸に目を  
 つけ、アルゼンチン商人を仲介として、  
 貸付を行うようになったといのである。  
 真偽の程は定かでないが、元の上田製  
 糸の上田平吉氏の所へ取引の伯人商人が

梶山米子

毛糸あみもの

不二式編物教授

機械編一式

その他  
 機械編による模様紋様から編等一切  
 丁寧にお教えいたします。  
 手あみの高等技術を習得いたしましたし  
 よう

あみもの一切の御用命承  
 ります

入植祭  
 演藝会

出演申込受付  
 申込は左記へ

前山商店  
 小茂田商店  
 阿部新藏  
 阿部五郎

締切 六月十日まで  
 お早くお願い致します。

ある日アルゼンチンから来たという商人  
 同伴で高談に来たことがある。当時上田  
 老は絹織物もやつていたので、絹布の注  
 文であつた。  
 しかし上田織物工場の絹布は幅がせい  
 ぜい一米半ぐらいなので、そんな狭い巾  
 のではいかん、五米幅のもので一万五千  
 米(一長さいくら)で出来るか、オルサメ  
 ントを出してくれというので、太っ腹上  
 田翁も、これは大きい商売だと、びっく

200X



原虫性(コクジシューム症) 細菌性呼吸器病 の予防・治療に

高級持続性スルファ剤

**SULXIN**  
スルキシシン

SULFA-METHOXY-PYRIDAZIN

新発売

特長

- 以前のスルファ剤と異り毒性がほとんどない
- 速効性且つ持続性を有す
- 水溶及び飼料添加いずれもよし
- 抗性物質の耐生菌に対して有効
- 原虫(コクジシューム)細菌性呼吸器病(コリーザ)に有効があるので経済的



病気恢復及びビタミン欠乏症に飼料添加剤

**ADEK FORTE**  
**ADEK NORMAL**

REPRESENTANTE EM BASTOS **VETIFARM S/A**  
**AGROPEC LTDA**

DIRIJA-SE  
A T. USHIAMA  
AV. 18 de JUNHO 375



獣医 **牛尼貴國**

FONE 246

2

りしたが、五米米突幅ときいてピーンと  
来るものが、あり、そんな大幅なもの  
機械が今すぐには間に合わぬといっ  
受けなかつた。令息たちは、さうい  
注文を引受けて大儲けを主張したが、  
田翁は頑として敵性物資の疑いある  
シオには應ぜられぬと、とんだところ  
意見の衝突があつたときいて、  
一般的な養蚕家は綱が敵性物資であ  
となかろうと、そんなことを云つては  
をすつとばしてしまふので、一五五  
の値にとびつかないわけにはいかぬ。  
ストス全村は勿論、遠くバウル方面  
ら蚕種の注文が殺到するありさまだ  
ウニオンⅡ区在住者だつた故森原富  
郎老は働き手でもあつたが養蚕も上  
毎三四百から五百もの収菌を上げ、  
た気焔だつた。五百針札で勘定する  
十回も挿立てると忽ち石油箱一ぱい  
つてしまふ。戦中だから、うっかり  
行へ予金でもしておくと、どんなこ  
なるかわからぬ、と一策案じ、ブリキ  
屋で銅の小箱を作らせ、これに紙幣を  
めてハンダ付けにする。そして竹藪付  
とか、その他秘密の場所に埋蔵する  
あつた。

かくしておいて盗賊の餌食になつては  
にもすすめた。この方法は友達にあ  
入も程で、銅の小箱に札を入れて埋  
する程残らなかつたので、森原氏の  
ぐりをうらやむばかりだつた。  
たつた盛んなつた。終戦後半歳も  
ほどモヴィメントの大きかつた絹糸  
市の滞貨がひどくなり、先ものを契  
た買手がどしどし倒産をはじめた。  
製糸は行きつまつて倒産をはじめた。  
系、産業組合、シキツト工場などの  
蚕種場などあり、他所にも製糸小工  
乱立してゐた。  
箇の買手もわんさとバストスに入り  
買あふりをやつた。いかに底の浅い  
業であつたか、こがらしにあつた落  
はじめると、こがらしにあつた落葉  
うなみじめさで消え去つた。たいて  
場は養蚕家に箇代を拂わなかつた。だ  
家のショツクは大きかつた。それを収  
ていた人は、土地を売り払い、四散せ  
ような惨憺たる地獄図だつた。その  
製糸だけは最後の一針まで拵つた。  
場長谷口章氏は、養蚕家を見殺しに  
ずに分払いで助け合つた。バンデラ  
組合の水島さんが箇代の肩替りとして、

3  
利子なんぞ問題ではない。元金の安全  
が第一というわけである。その頃の何  
コントだから大金だ。カーマの下に

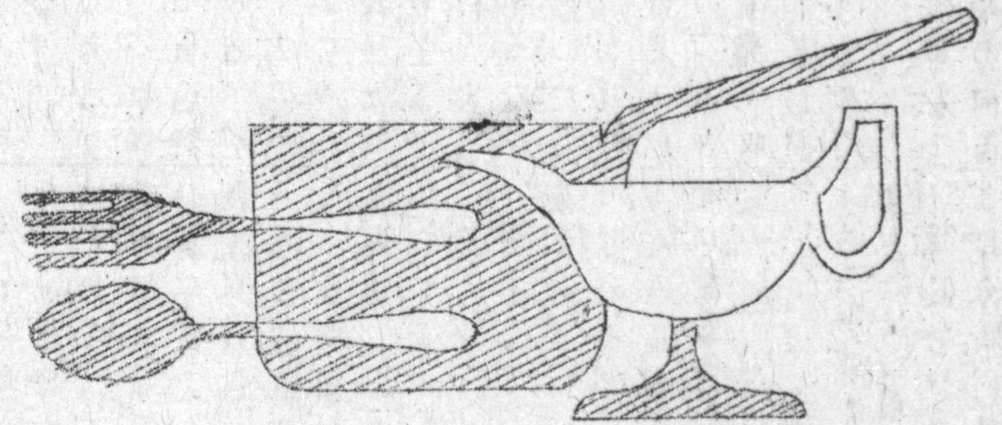


御料理の味付には今大好評のスーパー味



SUPERAGI

最高の調味料



遠藤貿易株式会社  
協和醗酵工業株式会社  
輸入元 東京 製造 製東

バンデランテ組合の水馬さんが苗代の肩  
替りとしてピントを配り、養鶏をやるう  
という人に大きな希望を与えた。  
この稿つづく 糸音

おしらせ

佛教講演会

日時 六月十二日(水)夜七時半  
場所 バストス産業会館  
講師 本派本願寺

清水円了開教師

皆様方御誘い合せ御来聴下さいませ  
よう御案内申上げます。

バストス仏教会

蘭花展示会

らんのはなてんじかい  
第一回蘭愛好会の展示会を開催致し  
ます。御希望者には即売もいたしま  
す。

○采る六月十五日(土) 十六日(日)

午前九時—午後五時

場所 奥田肉店跡

御禮

五月十九日汎パウリス夕幼少年柔道伯  
人大会開催に当り、トッパン会館まで  
特に朝夕二回の自動車を御提供下さい  
ました事を厚く御禮申上げます。

五月二十五日

バストス柔道部

内馬場七郎様



バスト又四十年史に残る人々

# 糸音交遊録 (二)

## 小沢勇氏、将男氏の巻

バスト又四十周年の声をきいて急に、  
 交遊録など銘打って大売出しをば  
 りめて見たが、いよいよ包装紙につ  
 紐をかけてお客様にインテレーが  
 なるかと、中々中味が無いものだ。  
 しても一ぺん噛みくだいて見ないと  
 んとうの味がわからない。といって  
 りはできまいから先ず故人から手  
 て見ようかという気になつたのは、  
 うしの氣持ちがあつたからである。  
 バスト又は養鶏の里といわれるだ  
 けて、事にわたりに關しては学者  
 専門家もあるし、養鶏の波にのつ  
 成功をかちとつた者も多いが、小  
 二代にわたる研究と努力には瞠目  
 ものを含んでゐる。  
 小沢家が戦時中シヤカウで養蚕を  
 ていた頃までは、特に國拔けた成  
 げたとか、財を成したとかいう噂  
 ず、普通の農家の存在と思つてい  
 息子さんの将男君が青年団の幹部  
 活動しはじめた当時、二十余年前  
 ろうか、... 養鶏に着手した頃か  
 兆があつた。  
 それを将男君の養鶏研究への異常  
 心振りである。たとえバグダモン  
 主に培養して給与する研究とか、  
 究(これなどは實地に小型サイ  
 も六つも築造した)鶏糞を風化さ  
 物の飼料にする研究とか、その他  
 余る科学実習を手かけていた。  
 それには、外見には息子さんひと  
 幸のように見えたが、實際には父  
 力から成る仕事で、資金はオマ  
 する。ムスコは研究の筋書をかく  
 筋書もオマツがプラーノを樹てた  
 顕著のものもある。勇、将男父子  
 は只単に鶏を養つてゐるだけでな  
 かにはせば最小の給与から最大の  
 げるかという研究と並行してゐる  
 色がある。  
 人間世界ならば、工場主が、いか  
 少の給与から、いかにして最大の  
 あげるか、などいつたら、労働車  
 殺されるどころだが、相手が鶏の  
 から、いくら策戦を討議してもグ  
 を起す心配はない。でも鶏糞を食  
 た鶏群は産卵でレグラしたかどう  
 そこまでは筆者は調べていない。  
 「小沢さんの研究もいろいろが仲  
 ないか」と評した人がある。雌伏

御禮  
 私達アギア、アハイヤ小学校の貧困児童救済  
 基金(カイシム、エヌコロ)の運営メンバーとして  
 一九六七年中は、当コロニアの皆様よりは勿論、善  
 良なる一般市民の方々より物心両面の御援助を仰ぎ  
 まして、ツツがなぐ大役を果させて戴きました。  
 経済的に恵まれぬ此れ等児童達が、ひがむこと  
 なく明るく元気に勉学にはげむ時、此の精神的  
 な御援助は誠に大なるものであります。  
 今年も亦、此恩恵を得た児童等が守窓を築立て  
 行きました。  
 茲に決算報告書を相添へ、御協力下さいました  
 各位の御一覽を願ひ、御禮の言葉と致します。  
 一九六七年カイシムエヌコロ  
 運営メンバー会長  
 ジルセ、ベルナルデス

PUBLICAR A CONTABILIDADE de CAIXA ESCOLAR

AGUIA DE HAIA BASTOS

|                         |         |              |         |
|-------------------------|---------|--------------|---------|
| Despesas                |         | Arrecadação  |         |
| Assistencia             | 6 4810  | Alunos       | 3 50661 |
| Alimental               | 6 4810  | Professores  | 1 2800  |
| Material                |         | Particulares | 9 4895  |
| Escolar                 | 6 4 506 | Prefeitura   | 1 2000  |
| Ropa                    | 1 0580  | Alimentos    | 2 7976  |
| Assistencia             |         | Juros        | 1 242   |
| Medica                  | 1 731   | Eventuais    | 2 8753  |
| Assistencia             |         |              |         |
| Dentara                 | 837 5   |              |         |
| Eventuais               | 1350    |              |         |
| Incarr. Sopa            | 20000   |              |         |
| Total                   | 171292  | Total        | 206727  |
| Saldo do ano            |         | Saldo do ano |         |
| antrior                 | 79094   | antrior      | 43659   |
| Total                   | 79094   | Total        | 250386  |
| Soma                    | 250386  | Soma         | 250386  |
| ROMEU TAYLOR ALMEIDA    |         |              |         |
| CEISO PEREIRA DE MORAIS |         |              |         |
| KIMURA REIKO HASHIMOTO  |         |              |         |

### 売り物

## ソフアカーマ

# 冷蔵庫

イグレーシャ前  
 牛  
 尼



いうが、小沢一家も十年儲けを貯えないで、研究に注ぎこんだお蔭で、年度でいうならば下半期でぐんと伸びた。上半期の施肥が効いて来たのである。小沢家の隆盛をそねむ声、そんな声はない筈だが、ある年バストに火が入って同家の鶏舎二棟に引火し、鶏も大分丸焼けになつた事がある。

「あれは信仰がぐらついたからだ」という声があつた。信仰云々は二の次として、草葺屋根では養蚕でも養鶏でも同じこと、ロツカ時期に野火の害を受けること、一再でない。小沢家も被害者の一人だつたが、忽ち復旧した。そのうち又こんどは畜糞室から出火したこともある。電気がストープであつたか詳細はききもらし

たが、この時は「信仰云々」という言葉はきかなかつた。信仰がぐらつくと、油断をす

るといふことかも知れぬが、ストープならともかく、野火をかぶることは不可抗力に迫り、まあ、サツペ屋根はやめて、せいせい遠くまで除草するに如くはあるまい。

「一難を蒙る毎に勇氣百倍」するのが小沢家の家風と見え、爾来無事故でとんとん拍子に家運隆盛である。豪壮なる邸宅を建て、設備万端整わさるなく、こういふ成功者がバストスに多ければ多い程郷土の誉れでなくて何んであろう。

養鶏の秘訣は経済羽教の完全維持であるといふ。小沢家はこれを堅持している。山市を訪問し、金に糸目をつけず、日本全国を観光して歩き廻つた。その旅行記は当時本紙に連載して大いに評判になつた。渡伯三十年夢寐にも忘れなかつた母国の美景を満喫したことは男子の本懐であつたろう。

訪日旅行出発にあたり、時の州議長から岡山県知事へ贈るメツセーシを小沢氏の託され、その時京野氏の斡旋でブラジルの地理学協会からロンドン勲章を授けられた。州議長のメツセーシは立派な葡文で、そのまま届けられればよいのに、出発一

日前になつて娘の将男夫人が私の所へきいて来て、明日迄に日本文にしてくれ、両語のを持参したいのだ、といふこと

で私は面喰つた。息子や孫に和葡両語の達人が居るのに、何をとぼけたことをい

つてくるのかと、内心立腹して断つたが、さすが将男夫人、四方に使用して君命を辱しめずという勢で、遮二無二押して帰つてしまつた。

文章の内容は、聖州はブラジル中の雄州であるが、小沢氏の様な篤農家が日系コロニアをリードして来たことが、いかに聖州の発展に寄与したことが褒譽の言

葉を知らない程である。小沢氏はバスト又郡で養鶏を専業としてゐるが、まれに見る進取の氣象に富む有為の人物である。今回訪日をされるに当り、日本の内でも最も産業発展豊富な貴州の知事閣下に聖州議会を代表して親書を贈呈する光榮を得たことを収ぶものである」といつた議礼的なものだつた。

葡文は美字麗句を羅列してあるので、文に拘わると直訳的な読みづらいものに

なりやすい。然るべく日本文的に直し、文章にしたところ勇氏から大いにほめられた。知らぬ字句が多く、一晚辞書と首引きせねば、何が何やらちんぷんかんぷんの私がホンヤクをして賞められたのは、後にも先きにもこれが始めてである。

勇氏にはこんな逸話もある。帰朝後のことだと思つたが、聖市から城島さんと二才先生が、アルモニアの学生寮新館建築のため来植された時私は奉賀帳を見せてもらった。一口二千コントスで各組合、各銀行有名商店の名がかなり並んで居り、終りの方に、小沢勇、水本彰各二千コントと列記されている。

私は全財産を振つても二千コントなどという額の金はないので、何といつてことわらうかと、目を白黒させていると、さすがに勸説者は目が高い。貧乏そう合だから、お宅の週報でも御協力なさいといふので、ほつと安堵の胸を

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、

うが、二年の月賦でもいいと云うから、







御禮の辞

向寒の折柄皆様には御さわりもなくお暮しのことと存じ上げます。本年はバストスも四十周年を迎えますが、私も六十歳の還暦を迎えますので、私の洋裁塾を卒業されました諸姉妹が御相談の上、私の爲めに祝賀の一席をお設け下さるとの御通知を戴き此の上もなき有難い事と存じます。回顧いたしますれば、私が当バストスに入植いたしました、かれこれ三十年になります。その間皆と御一しよに暮らせて頂きましたが、何分非才の身で何ら社会のため、人のためお役に立ちませんでした。来年こそと毎年のように心ばかりはやりまして、いつの間にか滑り込むように還暦を迎えた次第で御座います。

諸姉妹方御一同様から私の還暦を祝って下さる御心に対し尚一層御鞭撻に酬いなければと、女性としての道に努めさせて行きたいと思ひます。

去る五月二十六日は午後一時から生長の家会館で百人以上の方々がお集り下さって私の還暦を盛大にお祝い下さいました。又席上立派な記念品の御贈與を賜わり「わが生涯の輝ける日」の感激に浸ったこととございます。又、遠くバストス以外にお任いの方々も御来席下さいました御様子、一々御禮申上げる暇もなく失礼致しました。

当日の御馳走は各自の御持寄りと伺い、一層心温まる思いで且つ又余興の賑ったことなど永く心に泌みて想出となることとでございますよう。

一九六八年五月二十八日

岡村と き子

卒業生の

各諸姉妹様

又、記念品を御贈り下さいました方々の御芳名を左に記して記念と致し度く存じます。皆様ありがとうございました。



# 岡村先生還暦御祝

同窓生一同

|       |        |        |       |
|-------|--------|--------|-------|
| 藤林いづる | 興水よしみ  | 阿部一恵   | 尾井竹子  |
| 田中さち子 | 古谷文江   | 佐藤八重   | 長崎よし子 |
| 友谷和子  | 上村町子   | 小沢八重   | 佐藤ゆき子 |
| 止内さち子 | 崎田てる子  | 小沢妙子   | 木口信子  |
| 奥田利子  | 古賀かず子  | 小中ちか子  | 狩屋雪春子 |
| 水本幸子  | 戸川とし子  | 田中ちか子  | 狩屋雪春子 |
| 山本八重子 | 末田かず子  | 安有清子   | 狩屋雪春子 |
| 高田みね子 | 新谷雪枝   | 藤田重子   | 狩屋雪春子 |
| 小沢とみ子 | 伊勢島とも  | 小田重子   | 狩屋雪春子 |
| 安立えつ子 | 廣田ひとみ  | 池田しづ子  | 伊藤えみ子 |
| 吉田はる子 | 森中あさ   | 阿部秋子   | 尾上信子  |
| 及川松子  | 西川しづ子  | 秋山きよ子  | 伊藤えみ子 |
| 平井もと子 | 内馬場みえ子 | 内馬場アラン | 尾上信子  |
| 豊田かず子 | 内馬場みえ子 | 上村菊枝   | 尾上信子  |
| 井上しげ子 | 内馬場みえ子 | 上村菊枝   | 尾上信子  |
| 磯谷しづ子 | 小池ゆき子  | 小橋やす子  | 遠藤まさ子 |
| 菅野好子  | 小池ゆき子  | 青木ふく子  | 遠藤まさ子 |
| 山村正子  | 花田キ子   | 筒井あき子  | 山崎さか子 |
| 坪井一子  | 竹内ソフィー | 筒井あき子  | 山崎さか子 |
| 林田智恵子 | 三宅みよ子  | 渡辺初子   | 吉本やす子 |
| 奥山秋子  | 三宅みよ子  | 渡辺初子   | 吉本やす子 |
| 松浦せつ子 | 山本英子   | 上屋マリヤ  | 水馬雪子  |
| 田中みどり | 野口恵子   | 高橋みず子  | 水馬雪子  |
| 岡田八重子 | 白岩和子   | 高橋みず子  | 水馬雪子  |
| 工藤夏江子 | 竹田ひで子  | 森谷まさ子  | 西本しづ子 |
| 永松君代子 | 竹田ひで子  | 森谷まさ子  | 西本しづ子 |
| 具岐文子  | 清家とら子  | 長橋幹枝   | 西本しづ子 |
| 緒方朝子  | 新谷清子   | 相川とみ子  | 豊島愛子  |
| 若野しずか | 新谷清子   | 相川とみ子  | 豊島愛子  |
| 桐原信子  | 加藤美代子  | 速川信子   | 水口ふと子 |
| 面川文子  | 梅津愛子   | 及川光代子  | 水口ふと子 |
| 面川みさ子 | 梅津愛子   | 及川光代子  | 水口ふと子 |
| 千葉とし子 | 小林やす子  | 山根みよ子  | 宮本三子  |
| 上山かつ子 | 戸田ジュリア | 山根みよ子  | 宮本三子  |
| 小林みづ子 | 戸田みさ子  | 大久保幸子  | 上村アヤ子 |
| 竹内千子  | 松本ルイ   | 中岡かよ子  | 上村アヤ子 |

御 禮 御 換 拶

岡村とき子先生の還暦祝に記念品贈呈を提案いたしました処多数の方々の御賛成を頂き、五月廿六日生長の家会館で大勢様御立会の席上先生にお贈りし喜んで頂きました。御協力下さいました方々にあつく御礼申し上げます。

世 話 人 一 同

寫 眞 の 件

当日記念写真を撮影いたしました。御入用の方はロードビアリ才長橋様まで御申込み下さい。

世 話 人



# 蛮界抑留記

西 ハンスタール デン 原 亭 駅

## 第五章 ベルナンブツコ出航

こして二日ほど過ぎるうち、インドより帰航する数十隻のポルトガル船が、ぞくぞくと入港して来た。その総数は百数十隻にのぼり、港内にはいり切れないで、港外にも多数停泊することになった。そして長途の航海に疲れた乗組員たちは、体養のために島へ上陸した。はやがて、全船打そろってポルトガルのリスボン向け出航し、到着したのが一五四八年十月八日であった。こうして、延々十六ヶ月にわたるわたしの航海は、ここにひとまず終りを告げたのであった。その後、わたしは疲れを覚えたので、一年余り、取りとめもなく過した。

ある日、たれからともなく、スペイン人が南米大陸に新領土を獲得して、渡航者を集めているという話を聞いた。わたしは、持ちまへの冒険好きの心におおられて、大いに動かされた。ついにリスボンからスペインに向い、十数日の後サンタマリア港に到着した。ここでわたしの乗ったイギリス船は、葡萄酒を多量に積み、セルビリーヤに行つた。このセルビリーヤ港で、南米のリオダスブラックス向け出航するため、出航の準備を整えている三隻の船に乗船を依頼した。

スペインでは、さきに南米の新領土リオダスブラックスに数隻の船を派遣したところ、このほど一隻の船が帰国して、政府に対し、新領土がいかに金銀の宝物に富んだ土地であるかを報告した。そこでスペイン政府は、新たに三隻を派遣することを決し、総司令官として、有名な探検家、デイオーゴ・デ・サナブリアを任命した。

わたたくしはこの船隊へ乗船を許され、三隻の船は、セルビリーヤ港を出て、サンルツカ港に行き、そこで大航海の準備をして、いよいよ出航の日を待ったのであった。

## 第六章 スペインより再びブラジルへ

輝かしい出発の日、バスコ、祭の四日、すなわち一五四九年四月十日の朝であった。サンルツカ港を出港したが、風向きが悪いので、ポルトガルのリスボンをむかひかた。そして、風向きの直るのを待つて、カナリヤ島に道路をとった。次にパルマ島に寄り、食料や葡萄酒を積み、ここで三隻の船長会議が催された。

キタソング  
バーニル  
阪東  
レストウランテ

食料品  
野菜  
魚菜  
手打うどん



入植祭には宴会、集会に

サロンを

御利用下さい

阪東商店

到る処で大好評を  
いただいております

ヤマサ自動洗卵機

四本線一時間二十箱の能率の上る

新鋭機遂に完成

従来の型とは全然ちがう新型現わる

電熱扇風機乾燥、選別

銀行融資の方法があります

すから御利用下さい

リノホリス市 (七月より値上げ六月中旬に御申込みのこと)

山崎浅野商会

お問合せ御注文は

パラナ方面、パウリスタ方面

総代理人 丸山 敦

バスターC.P.ニ  
FONE一五二・一六八



MALATOL-4S-50E



マラクオンを主とする  
燐の化合物

“MALAGRAN”

ミールヨを穀象に侵かされぬように

1 ミールヨをサッコに詰める前、一俵六〇kg  
に対し六〇グラマ(ソツパ匙山盛三杯の割  
でマラグランをませる)

2 倉庫を守るには、ミールヨのサフラ前に倉  
庫をリンパして、マラトール4Sを床や  
壁にふりかける。

3 サッコ詰め前のミールヨ防衛するハ外部から  
マラトール4S-50を噴霧機でかける。

三千俵の一積りにマラトール4S-50を  
毎月噴霧する。

代理人 勝

崎田春一氏訪日

如て日本外務省より日本蚕糸業視察  
の資格を受けていたカソビナス聖州蚕  
糸局長スカルベリ氏は五月一日発の工  
事アラス使にて訪日することになった。  
東内務省通訳として、パウリス夕蚕糸  
局長、崎田春一氏が選ばれ、スカルベ  
リ氏と同行食事にすることになった。五月  
八日聖州に向った。  
一行はイタリヤの蚕糸業を一週間程視  
察し、エールフランヌ機にて訪日のコ  
スをとることになった。  
日本滞在は二十日位の予定の由。

その会議は航海の幸について、三隻の  
船が離ればなれになつた時は、三隻の  
入度の所で互いに船を待ち合わせること  
に取決められた。  
バルマ島より一路カレボベルデにも  
い、そこより新大陸むけ針路を取つたが  
風向が悪く、船はしばしば逆の方角に  
押し流された。この流されて行く先きに  
は、黒人の多く住むギネ島がある。そこ  
には何の用事もないので、針路を立て直  
しながら、ようやく、サントメに到着し  
た。サントメは、ポルトガル王家に属し  
、良質の砂糖を産出すること知られて  
いた。ここは多くのポルトガル人が住み  
、多数の黒人奴隷を便役して農園を経営  
していた。  
わたしたちは、航海中は水不足に悩ん  
できたので、清水を充分に飲み、多量に  
積み込んで船を大海に乗り入れたがその  
夜猛烈な暴風雨にあつて、三隻の船は散り散りに  
なりついに連絡は切斷されてしまった。

バストス短歌会五月例会作品 其二

生れくる涙眼に頸つか髪妻が流れし掌に編む鏡下  
可愛ゆし 宮武藤南  
珍石を拾いし喜び満つるがに語録すめて帰途みな  
明るし 森重半翁

夜運の練りに進みし兄が舞つて死の舞の舞みし朝  
言い過ぎし悔おもければ塵突のべしの音にも弾みな  
くこころ

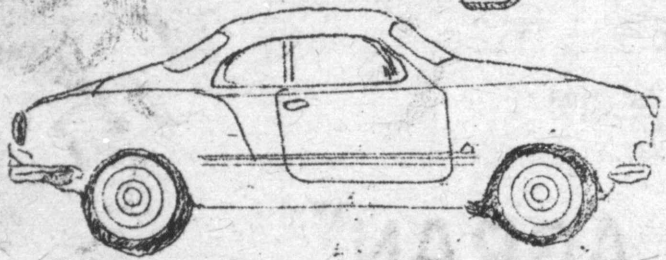
ボルマリン混合のモミを後に敷けばひりひり掌の傷  
に癒む

われのみは異状はあらぬと兄弟は次々中氣に倒  
されて来し

次回六月例会は、第三日曜日(十六日)夜八時  
森重宅にて



ヴォクスワーゲン  
Volkswagen



カルマンギア 1500  
KARMANGUA 1500

コンビ  
KOMBI

ヴォクス  
VOLKS

ピックアップ

カリフォルニアモーターS/A

CALIFORNIA MOTOR S/A

OSWALDO CRUZ

C. POST. 156



皆さんから愛用される  
世界一の大量車各戸に一台

Aviso de Cine Pastos

六月四日(火)五日(水) 両夜とも八時 五才  
立松竹 花の舞子はん 橋幸夫 香山美子 小沼久美子  
天然色 花のカーサシゆれゆれて、若い瞳がうるんでゐる。

六月七日(金)八時 八日(土)九時半 十六才  
松竹 皇太子御夫妻南米友好親善の旅  
天然色 あの感激をいま一度、御出発からご帰国まで、堂々五十分、  
あゝの感動をいま一度、

六月九日(日)九時半 十日(月)八時 十八才  
東映 社長行状記 池内淳子 三木のり平 司葉子  
天然色 脱線社長の爆笑満載、年に一度のお馴染みシリーズ、  
LIBA OKAMINOSHE  
夏八木勲 宮園純子 富永美沙子  
遠藤辰雄 内田良平 佐藤一京

六月十一日(火)十二日(水) 両夜とも八時 十八才  
日活 牙狼之介  
天然色 カイナミックな殺新を見せろ新人夏八木とはどんな田力、  
吉永小百合 丸林谷栄  
六月十一日(火)十二日(水) 両夜とも八時 十八才  
日活 愛と死を見つめて 浜田光夫

六月十四日(金)八時 十五日(土)九時半 十才  
東宝 鉄火場破り 石原裕次郎 小沢昭一 井上昭文  
天然色 勝ア斬る、勝負の男裕次郎、黄金の腕が波乱を呼ぶ豪快アクション

六月十六日(日)九時半 十七日(月)八時 十八才  
東宝 アンテスの花嫁 左幸子 アンセルモ福田 比嘉たけし  
天然色 高橋幸治 ドンファンテオ 金城光太郎  
東宝が夏冬に贈る芸術祭参加の名篇、南米アンテス山脈に長期ロケ敢行  
南米ベルアンテス山脈は世界の謎、インカ帝国の威びた遺蹟秘境、ここに女ひとりで嫁ぎ行く冬子は、

六月十六日(日)九時半 十七日(月)八時 十八才  
松竹映画 霧旗 詳細は次号